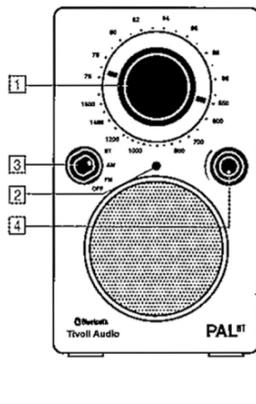


はじめに

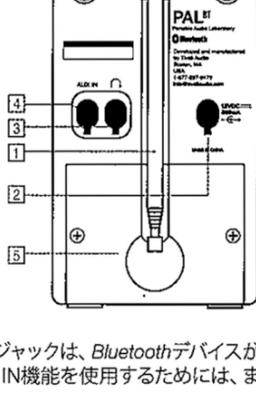
前面

1. チューニングダイヤル: チューニングダイヤルを回して、FMやAMの局を選局します。
2. 電源インジケータ: 電源/充電の状態を示すLED。
3. ソース選択: 選択スイッチをOff位置からFMまたはAMへと切り替えます。Bluetooth®を有効にするには、BTに切り替え、「Bluetoothの使用」の項に記載の手順に従います。
4. 音量: 音量を望みのレベルに調整します。



背面

1. FMアンテナ: ベストなFM受信状態となるようにアンテナを調節します。このアンテナは、AM受信には一切関係ありません。AMについては、PAL BT本体を動かして、内蔵アンテナがベストな受信を得られる向きとなるようにします。
2. AC / DC入力: 付属の外付け電源供給装置を接続します。本製品には付属の電源供給装置のみを使用してください。電源供給装置が故障したり、それをなくした場合には、同一の交換品のみを使用してください。コネクターは、中心がプラスの5.5mm/2.1mmのタイプです。
3. ヘッドホン出力: ステレオ3.5mmプラグ付きのヘッドホン (含まれていません) をここに接続します。
4. 補助入力: 補助デバイス (MP3プレイヤーなど) を、ステレオ3.5mmプラグ付きのオーディオケーブル (含まれていません) を使用してここに接続します。AUX INジャックは、Bluetoothデバイスが接続されている時には無効となっています。有線のAUX IN機能を使用するためには、まずBluetoothデバイスの接続を解除する必要があります。
5. 電池収納部。



4

Bluetooth® の使用:

ペアリングを行う前に、お手持ちのデバイスがBluetooth 2.1+EDR A2DPに対応しており、そのデバイスが他のBluetooth製品に接続されていないことを確認してください。デバイスによってペアリングの仕方は異なることがあります。以下は一般的なガイドです。

1. PAL BTの選択スイッチを「BT」位置にします。これでBluetoothがオンになります。音量を初めは4ほどのレベルにしておきます。同様に、ソースデバイス (ストリーミング元のデバイス) の音量も多少上げておきます。
2. ソースデバイス側でBluetoothワイヤレス機能をオンにします。
3. ソースデバイスの画面上に利用可能デバイスが表示されたら、「Tivoli Bluetooth (Not Paired)」を選択します。デバイスによってはPINが要求される場合もあります。その場合は、「0000」と入力します。「Tivoli Bluetooth」は、「Not Paired」(未接続) から「Connected」(接続済み) に変わります。
4. PAL BTからは着信音が聞こえます。これでミュージックファイルが無線で再生開始できるようになりました。デバイス上で音量を調整します。以後はこのデバイスとのペアリング操作をする必要はないはずです。お使いのデバイスによっては、PAL BTとのペアリング/接続に、何回か操作を繰り返す必要がある場合もあります。ただし、操作の繰り返しにかかる前に、デバイスにペアリング/接続のための十分な時間的余裕を与えるようにしてください。

Bluetooth®ワイヤレステクノロジー対応のiPad、iPhone、またはiPod touchとのペアリング:

1. PAL BTの選択スイッチを「BT」位置にします。これでBluetoothがオンになります。音量を初めは4ほどのレベルにしておきます。同様に、ソースデバイス (ストリーミング元のデバイス) の音量も多少上げておきます。
2. 「Settings」(設定) を選択します。
3. 「General」(一般) を選択します。
4. 「Bluetooth」を選択します。
5. Bluetoothを「On」にして利用可能デバイスを検索します。
6. 画面上に「Tivoli Bluetooth (Not Paired)」が表示されたら、それを選択します。PINの入力を促されたら、「0000」と入力します。「Tivoli Bluetooth」は、「Not Paired」(未接続) から「Connected」(接続済み) に変わります。
7. PAL BTからは着信音が聞こえます。これでミュージックファイルが無線で再生開始できるようになりました。デバイス上で音量を調整します。以後はこのiPhone/iPod/iPadとのペアリング操作をする必要はないはずです。

ミュージックファイルの音量出力レベルには相違があります。より大きな出力レベルが好まれる場合には、お使いのiPhone/iPod/iPadの設定をチェックします。EQをOff、SoundCheckをOff、そしてVolume limit (音量リミット) をOffに設定します。

ペアリングがうまくいかない場合は、お使いのiPhone/iPod touch/iPadの画面上の「Tivoli Bluetooth」の右側にある小さな矢印をタップし、「Forget this device」(このデバイスを削除) を選択してから、ペアリング操作をやり直してください。お使いのデバイスによっては、PAL BTとのペアリング/接続に、何回か操作を繰り返す必要がある場合もあります。ただし、操作の繰り返しにかかる前に、デバイスにペアリング/接続のための十分な時間的余裕を与えるようにしてください。

5

音楽のストリーミング時には、iPhone/iPod touch/iPadの画面上で、次のトラックボタン >>/ の右にあるブルーの矢印をタップすることにより、iPhone/iPod/iPadとBluetoothの間の切り替えを行うことができます。

- PAL BTは最大8デバイスとのペアリング情報を記憶します。追加のデバイスとのペアリングは可能ですが、その場合、使用が最も古いデバイスは、新たにペアリングされたデバイスに取って代わられます。
- 再生中にオーディオが途切れたり停止する場合には、デバイスをPAL BTに近づけてみるか、または別の無線デバイスが信号に干渉していないかを確認してください。
- BluetoothからAMまたはFMに切り替える場合、PAL BTの音量レベルを調整し直す (下げる) 必要があるかもしれません。

電池パックについて

PAL BTは、6個の高容量ニッケル水素 (NiMH) セルからなる電池パックを使用しています。ニッカド (NiCd) 電池とは異なり、NiMH電池はメモリー効果がなく、長い使用時間を提供、また有害な金属を使用していません。前面パネルの緑のLEDは、PAL BTの革新的な電源管理システムにより、電源オンインジケータおよび電池電源と充電状態のインジケータの両方の役を果たします。

高速充電モード

PAL BTのスイッチはOff、電源コードは接続した状態で、完全放電状態から電池が完全に充電されるまでには、およそ3.5時間ほどかかります。この間、緑のLEDは長いオフと短いオンのサイクルで点滅します。電池がフル充電されるとLEDは消灯します。

高速充電モードの使用によりPAL BTがフル充電されたら、電源コードをいったん抜いて直ぐに再度接続するようなことはしないでください。そうすると電池がフル充電されているにも拘わらず、高速充電モードが再度スタートしてしまいます。これを繰り返した場合には、電池に損傷が起ります。「使用し始める前にも参照してください。

細流充電モード

PAL BTのスイッチはOn、電源コードは接続した状態で、電池はおよそ24時間でフルに充電されます。この間、LEDは点灯したままです。

電池残量低

PAL BTのスイッチはOn、電源コードは接続されていない状態で、電池が放電して来ると、電源管理システムにより緑の電源インジケータLEDが、短いオフと長いオンのサイクルで点滅するようになります。電池の再充電が必要であることを知らせます。電池が放電するに連れ、PAL BTが電池を保護するために自動的にオフとなるまで、点滅速度は次第に速くなります。点滅が始まりPAL BTが停止するまでの残りの再生時間は、20分から数時間の範囲内と推測されます。ラジオがどれほど長くまたどれほどの音量で使用されているか、また電池の残量がどれほどかなど、多くの要因がかかわるために、これ以上性格に推測することは困難です。例えば、小さな音量での方が、大きな音量での再生よりも、PAL BTは電池からより長い再生時間を引き出せるでしょう。PAL BTを使用しているうちに、充電が必要となるまでには、どれほどの再生時間があるのかについて見当がつくようになるものです。また、Bluetoothワイヤレステクノロジーの使用時には、PAL BTでの電池駆動による再生時間が短くなることに気付かれることでしょう。

6

PAL BTがFMまたはAMになっており、電源インジケータが消灯している場合は、電池の再充電が必要ですが、ただし、LEDが消灯した後でも、ラジオをオンにした場合に短い時間は機能することはよくあることです。

PAL BTを長時間交流電源またはその他の電源なしに使用することになる場合には、とりわけLEDが点滅している場合には、その前に十分に充電しておくことが賢明であると言えます。そうするには、「高速充電モード」の項にある手順に従います。

電源インジケータLEDは、高速充電モードでは電池が充電されている間、異なるサイクルで点滅する点滅に注意してください。PAL BTのNiMH電池では、メモリー効果がないため、充電する前に電池が完全に放電するのを待つ必要はありません。とはいえ、完全に放電した状態から再充電して支障があるわけではありません。

使用していないときにはPAL BTを接続したままにしておくことで、必要とするときにいつも電池が充電されている状態を確保できます。PAL BTの電源コードが接続されていない場合には、安全策として電池は自己放電します。PAL BTを電源供給装置により連続使用しても、何らの悪影響もありません。

注) 真新しいとき、または何週間も使用されていなかった場合には、電池がフルに機能するようになるまでに、最大4回までの充放電サイクルが必要であることがあります。

電池パックの交換

電池パックを交換する必要がある場合には、FMアンテナを上方向に引き上げ、プラスのドライバーを使って電池収納部カバーを固定している2本のネジを取り外します。電池カバーを引き外し、電池パックのリード線の接続を外し、電池パックを交換して、正しくリード線を接続します。電池カバーを下側の縁部を先に挿入して元通りにはめ、ネジでカバーを固定します。交換用電池パックは、最寄りの認定販売店またはTivoli Audioから購入いただけます。

▲ 要注意: 火災や傷害のリスクを低減するために、Tivoli Audioまたはその認定代理店から入手いただける正しい交換用電池パックを使用してください。また、使用済み電池パックは、地元の規制・規則に従って廃棄処分してください。

PAL BTの取り扱い

- PAL BTは耐候性はありますが、どのような天候にも耐えられるというものではありません。水中に漬けたり、流れる水にあてたりしてはいけません。また、極度の高温にさらすべきでもありません。
- PAL BTは携帯できるようにデザインされていますが、壊れないわけではありません。落としたり、強烈な衝撃を加えたりしないでください。
- PAL BTは常に側面の保持用くぼみを利用して保持してください。
- PAL BTの滑らない、耐候性塗膜は、丈夫ではありませんが、ひっかき傷がつかないわけではありません。
- PAL BTのスピーカーは、磁気的に遮蔽されておりコンピュータモニターやテレビの近くでの使用が可能です。
- 使用中に電源供給装置が温くなるのは異常ではありません。

仕様はすべて、予告なしに変更することがあります。Tivoli Audioは、予告なしに製品の変更を行う権利を留保します。

Tivoli Audio、Tivoli Audioのロゴ、およびPALとPortable Audio Laboratoryは、Tivoli Audio、LLCの商標です。Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の保有する登録商標であり、Tivoli Audioによる当該マークの使用は許可を得たものです。その他の商標および商号はそれぞれの所有者に帰属します。iPod、iPod touch、iPhone、およびiPadは、Apple Inc.の米国およびその他の国々での登録商標です。

7